

(倫理様式 2-2-1)

左右上肢静脈穿刺の違いがカテーテルアクセスルート 3D-CTA に及ぼす影響 に関する研究

1. 研究の対象

2018年1月～2019年12月に当院で脳血管撮影、脳血管内治療におけるカテーテルアクセスルート3D-CTA検査を受けられた方

2. 研究目的・方法

本研究の目的は、左右上肢静脈穿刺の違いが脳血管撮影、脳血管内治療におけるカテーテルアクセスルート3D-CTAに及ぼす影響を明らかにすることである。さらにそのデータを活用し、今後カテーテルアクセスルート評価目的の3D-CTA検査の質の向上をめざす。方法は、診療録等から性別、年齢、体重、造影剤投与量の患者データを収集し上肢静脈穿刺の左右における患者固有の条件差を分析したうえで、画像データからカテーテルアクセスルートCTA画像を収集し、対象とする血管のCT値計測と、3D-CTA画像の視覚評価をおこなう。なお研究期間は、倫理委員会承認後～2020年8月とする。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

カテーテルアクセスルート3D-CTA画像、性別、年齢、体重、造影剤投与量等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

群馬県伊勢崎市太田町 366

0270-24-3355

公益財団法人脳血管研究所附属美原記念病院画像診断科 中澤 将城

研究責任者：

公益財団法人脳血管研究所附属美原記念病院画像診断科 中澤 将城